

2020年12月期 第1四半期
決算説明資料

2020年5月12日

株式会社ソディック

I. 2020年12月期 1Q決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

(参考資料)

業績ハイライト



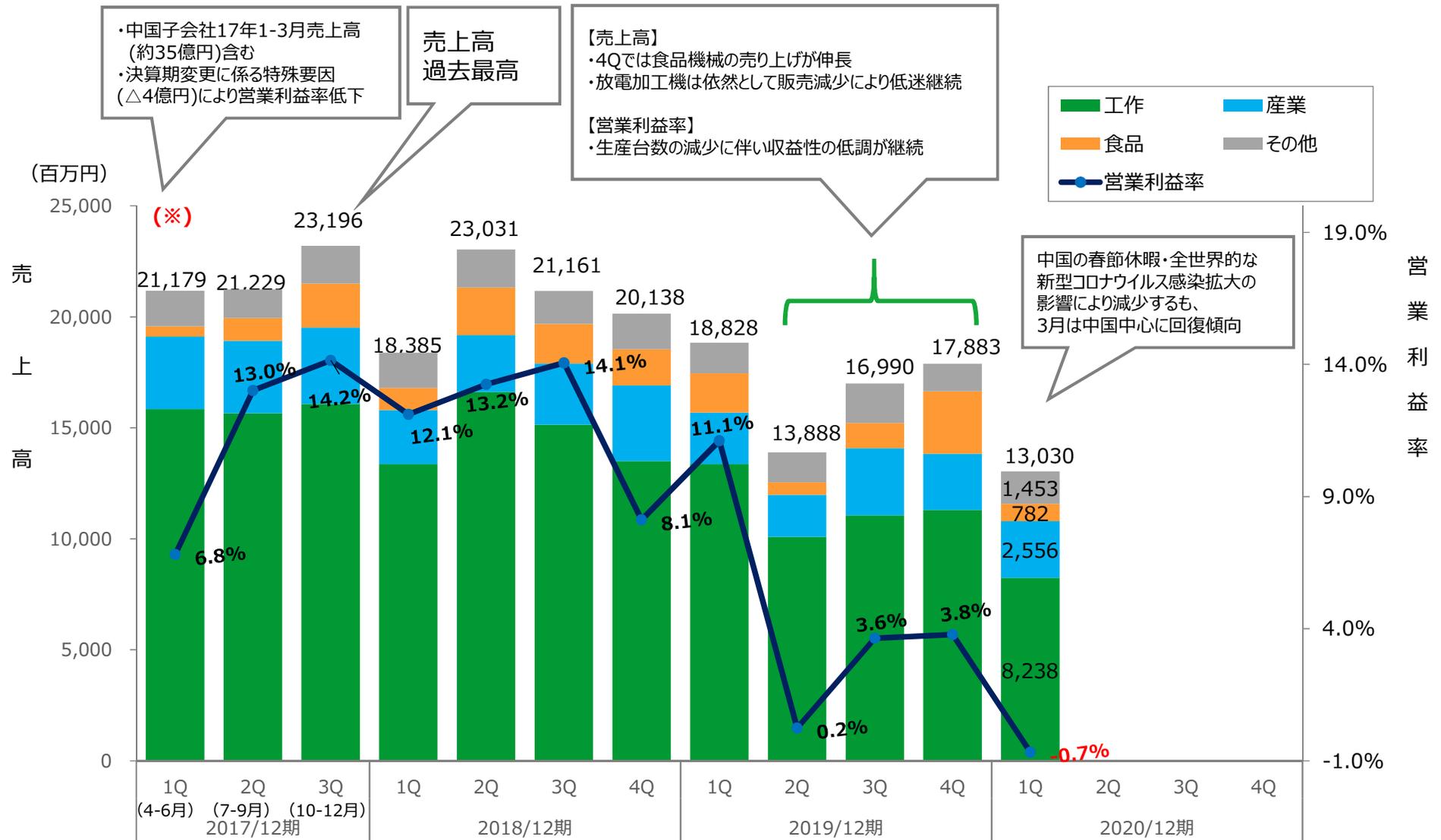
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主要市場の中国をはじめ全世界的に放電加工機の販売が大幅に減少。売上高は前年同期比約3割減少。
- ✓ 利益面では、生産台数減少に伴う工場の収益性低下等により、88百万円の営業損失

(百万円)

	2019年12月期 1Q		2020年12月期 1Q		前年同期比 増減		2020年12月期 通期予想	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	18,828	-	13,030	-	△5,798	△30.8%	67,800	-
売上総利益	6,645	35.3%	4,073	31.3%	△2,572	△38.7%		
営業利益	2,093	11.1%	△88	-	△2,181	-	3,800	5.6%
経常利益	2,168	11.5%	△67	-	△2,236	-	3,800	5.6%
当期純利益	1,460	7.8%	△18	-	△1,478	-	3,100	4.6%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	1,918	10.2%	386	3.0%			4,500	
減価償却費	831	4.4%	839	6.4%			3,800	
研究開発費	904	4.8%	807	6.2%			3,400	
期中平均 為替レート	ドル	110.22 円		108.86 円		1.36円 円高	106.00 円	
	ユーロ	125.16 円		120.08 円		5.08円 円高	118.00 円	
	人民元	16.32 円		15.60 円		0.72円 円高	15.40 円	
	バーツ	3.49 円		3.48 円		0.01円 円高	3.60 円	

※参考情報 2020年3月末 為替レート ドル：108.83円 ユーロ：119.55円 人民元：15.31円 バーツ：3.34円
2019年3月末 為替レート ドル：110.99円 ユーロ：124.56円 人民元：16.47円 バーツ：3.49円

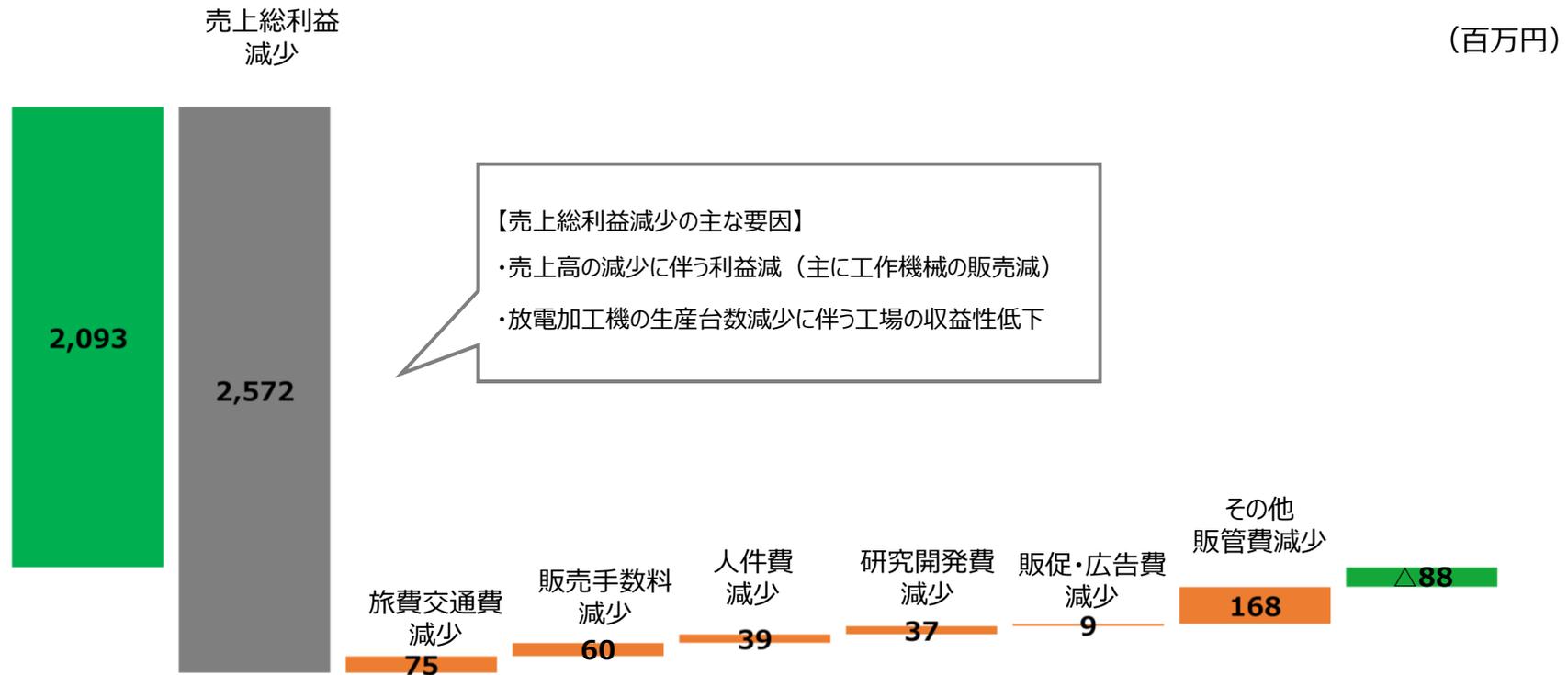
売上高・営業利益率推移（四半期毎）



(※)決算期変更による変則決算のため、中国12月決算会社の17年1-3月の数値含む。

営業利益増減要因

- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、販売台数減少に伴う販売手数料の減少や、出張制限による旅費交通費の減少等により、販売管理費は減少したものの、売上高の減少等に起因する売上総利益の大幅な減少により、88百万円の営業損失。



2019年12月期
1Q (実績)

2020年12月期
1Q (実績)

セグメント別業績



(百万円)

		2019年12月期	2020年12月期	増減		2020年12月期 通期予想
		1 Q 実績	1 Q 実績	(額)	(率)	
売上高	● 工作機械事業	13,362	8,238	△ 5,124	△38.3%	45,400
	● 産業機械事業	2,320	2,556	235	10.2%	9,700
	● 食品機械事業	1,776	782	△ 994	△56.0%	6,300
	● その他事業	1,369	1,453	84	6.1%	6,400
		18,828	13,030	△ 5,798	△30.8%	67,800
セグメント 利益	● 工作機械事業	2,191	197	△ 1,993	△91.0%	5,300
	● 産業機械事業	80	142	61	76.7%	350
	● 食品機械事業	336	25	△ 311	△92.5%	350
	● その他事業	△ 7	60	67	—	300
		2,600	425	△ 2,175	△83.6%	6,300
調整額		△ 507	△ 513	△ 6	—	△ 2,500
営業利益 合計		2,093	△ 88	△ 2,181	—	3,800

セグメント別業績



(百万円)

■ 工作機械事業

【売上高】

- 中国をはじめ全世界的に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により景気が大幅に減速。
- 自動車、スマートフォン、電子部品など幅広い産業で、事業活動の停止等による製品出荷の後ろ倒しや設備投資を先送りする傾向が強くなり、放電加工機の販売台数が大幅減少。
- 一方、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しつつある中国では、自動車やスマートフォン関連などで3月に受注が回復。

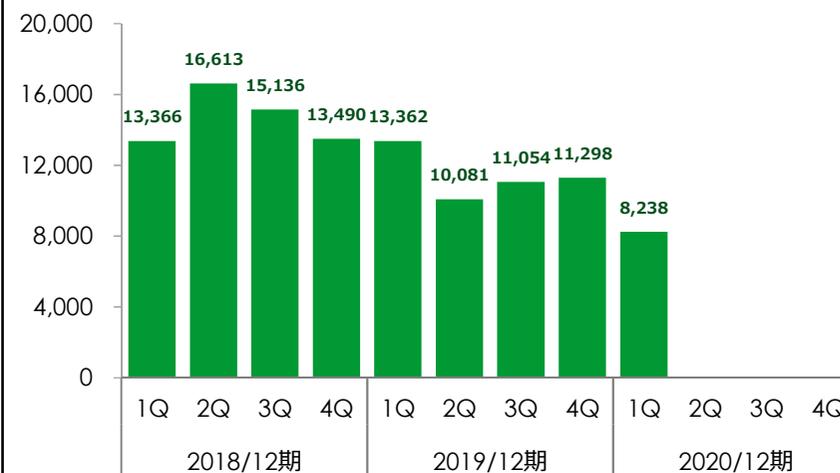
【セグメント利益】

- 売上高の減少及び生産台数減少による工場の収益性低下等により前年同期比大幅減少。

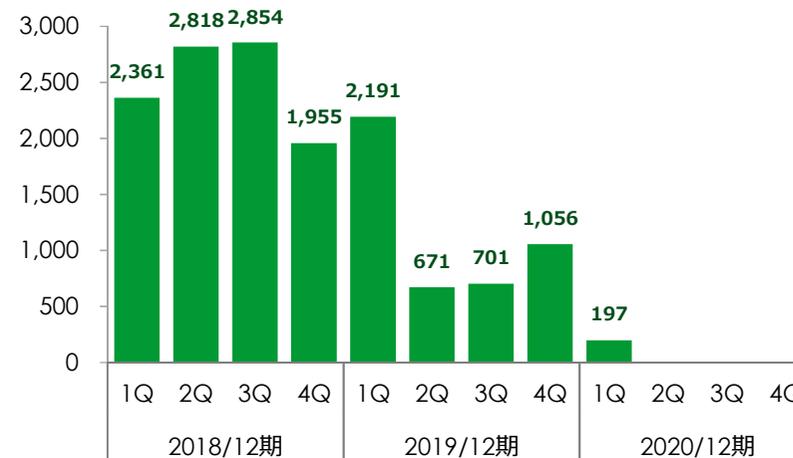
(百万円)

	2019年 12月期 1Q	2020年 12月期 1Q	増減	
			額	率
売上高	13,362	8,238	△ 5,124	△ 38.3%
セグメント利益	2,191	197	△ 1,993	△ 91.0%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■産業機械事業

【売上高】

- 全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響による経済活動の抑制はあるものの、中国・アジアで5Gスマートフォンのアンテナ部品向けや監視カメラのレンズ向けに需要あり、販売台数は前年同期比微増。
- 3月に中国・アジアにおいて5G関連を中心に需要拡大し、受注は前年同期比大幅増加。

【セグメント利益】

- 高付加価値製品の販売が増加し、セグメント利益は前四半期（19年4Q）比大幅に改善。

(百万円)

	2019年 12月期 1Q	2020年 12月期 1Q	増減	
			額	率
売上高	2,320	2,556	235	10.2%
セグメント利益	80	142	61	76.7%

売上高（四半期毎）



セグメント利益（四半期毎）



セグメント別業績



(百万円)

■ 食品機械事業

【売上高】

- 製麺機関連で既存顧客からのメンテナンスや設備増強のほか、衛生面や省人化を目的とした需要あり。
- 主な案件の売上見込み時期が下期以降であること、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による設備投資の先送りの動きもあり売上高伸び悩み。
- 前年同期（19年1Q）には製麺関連、前四半期（19年4Q）には無菌包装米飯の大口径案件があった反動で、今期売上高は大幅減少。

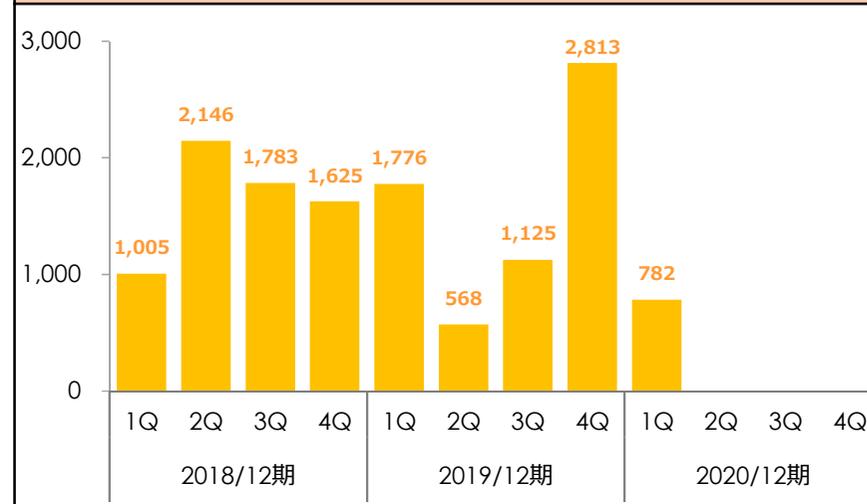
【セグメント利益】

- 前年同期に計上されたような高収益案件が少なく、セグメント利益は低水準。

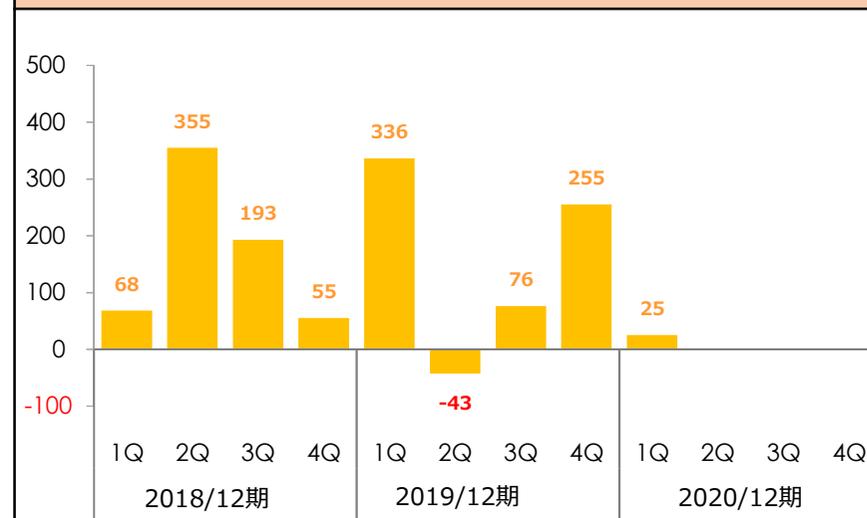
(百万円)

	2019年 12月期 1Q	2020年 12月期 1Q	増減	
			額	率
売上高	1,776	782	△ 994	△56.0%
セグメント利益	336	25	△ 311	△92.5%

売上高（四半期毎）



セグメント利益（四半期毎）



セグメント別業績



(百万円)

■ その他事業

【売上高】

- 金型成形事業は、需要回復傾向
- セラミクスは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、需要の減速が継続。

【セグメント利益】

- 中長期的な事業拡大に向けた製造設備の能力増強、自動化対応のための研究開発投資が先行しており、収益性は依然として回復していない状況。

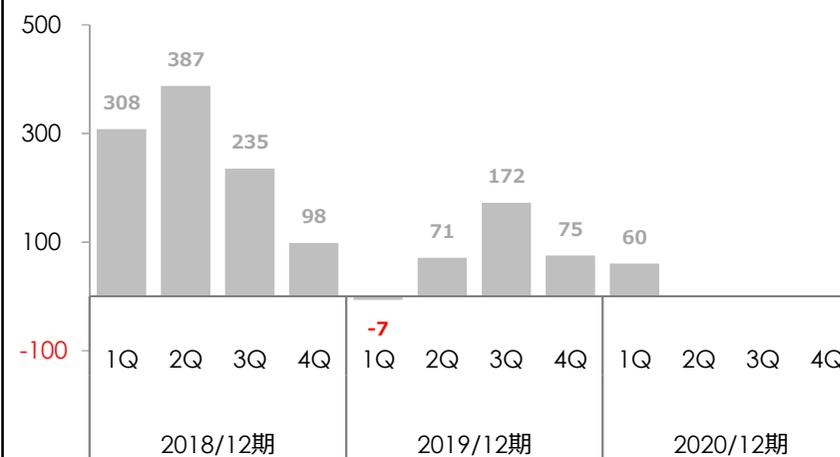
(百万円)

	2019年 12月期 1Q	2020年 12月期 1Q	増減	
			額	率
売上高	1,369	1,453	84	6.1%
セグメント利益	△ 7	60	67	-

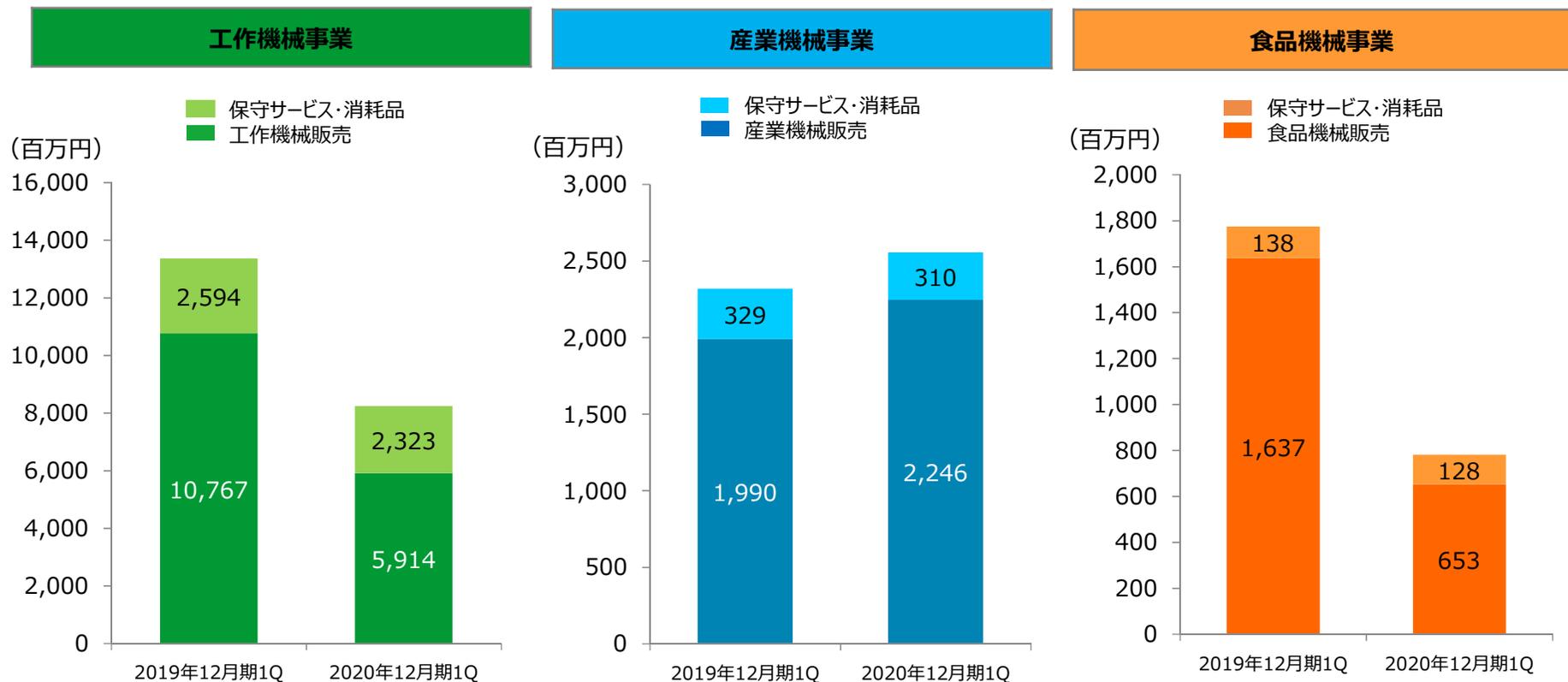
売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



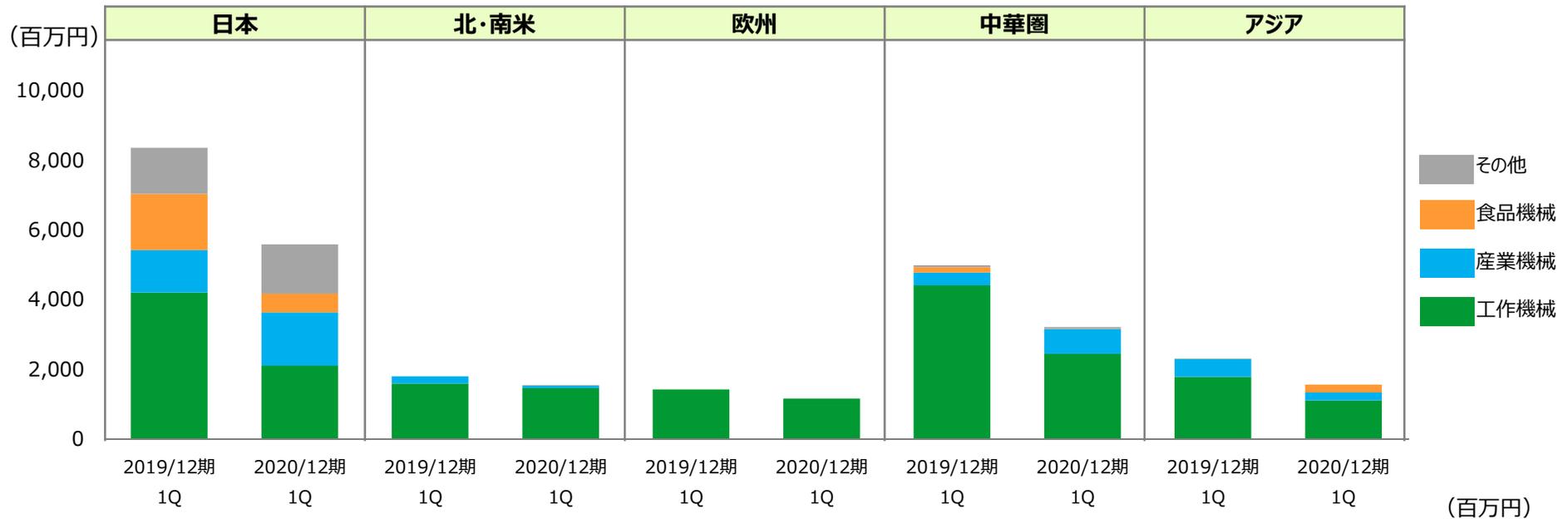
セグメント別 売上高内訳



	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2019年12月期 1Q		2020年12月期 1Q		2019年12月期 1Q		2020年12月期 1Q		2019年12月期 1Q		2020年12月期 1Q	
機械販売	10,767	80.6%	5,914	71.8%	1,990	85.8%	2,246	87.9%	1,637	92.2%	653	83.6%
保守サービス・消耗品	2,594	19.4%	2,323	28.2%	329	14.2%	310	12.1%	138	7.8%	128	16.4%
合計	13,362		8,238		2,320		2,556		1,776		782	

事業別海外売上高比率

✓ 日本・中国・アジアでの売上高が大幅に減少。 海外売上高比率は 57.2%



2019年12月期 1Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	4,193	31.4%	1,583	11.8%	1,414	10.6%	4,398	32.9%	1,772	13.3%	13,362	71.0%
産業機械	1,218	52.5%	208	9.0%	—	—	371	16.0%	521	22.5%	2,320	12.3%
食品機械	1,613	90.9%	0	0%	—	—	154	8.7%	7	0.4%	1,776	9.4%
その他	1,318	96.3%	—	—	—	—	50	3.7%	—	—	1,369	7.3%
地域別 計	8,344	44.3%	1,792	9.5%	1,414	7.5%	4,975	26.4%	2,301	12.2%	18,828	100.0%

2020年12月期 1Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	2,096	25.5%	1,451	17.6%	1,156	14.0%	2,436	29.6%	1,097	13.3%	8,238	63.2%
産業機械	1,527	59.8%	80	3.1%	—	—	710	27.8%	237	9.3%	2,556	19.6%
食品機械	536	68.6%	5	0.7%	—	—	19	2.5%	220	28.2%	782	6.0%
その他	1,416	97.4%	—	—	—	—	37	2.6%	—	—	1,453	11.2%
地域別 計	5,577	42.8%	1,536	11.8%	1,156	8.9%	3,204	24.6%	1,555	11.9%	13,030	100.0%

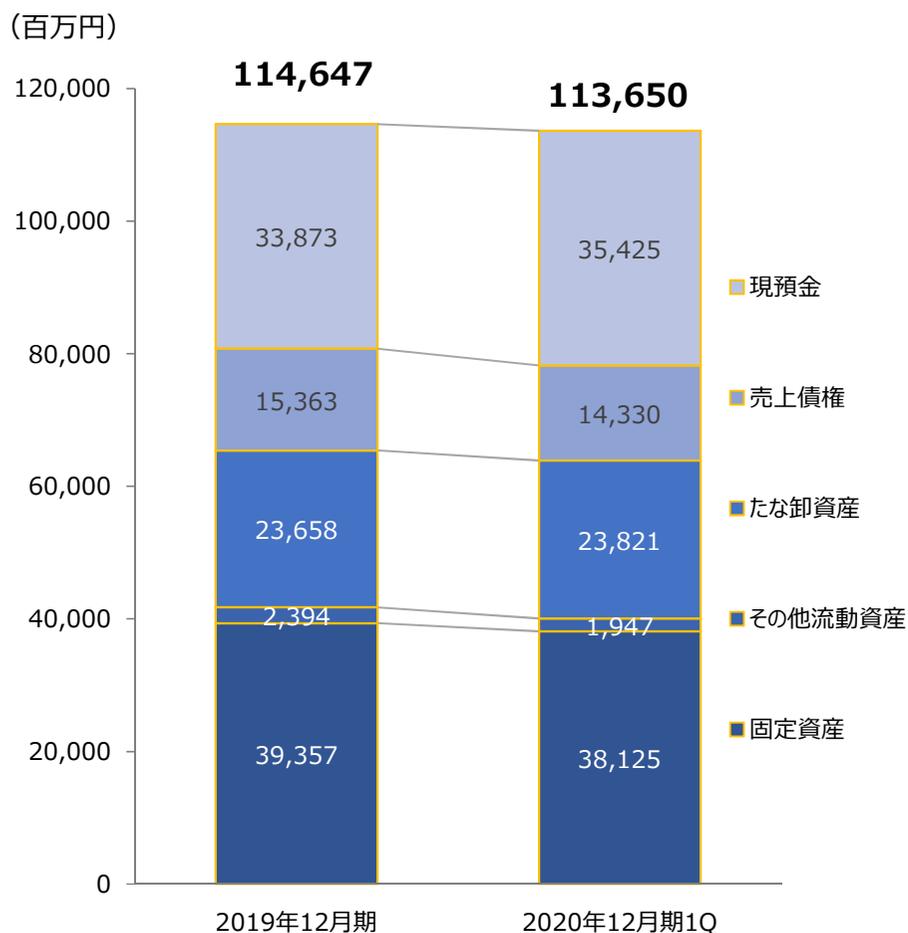
為替の影響額	—	△約0.2億円	△約0.5億円	△約1.1億円	△約0.2億円	△約2.0億円
--------	---	---------	---------	---------	---------	---------

貸借対照表

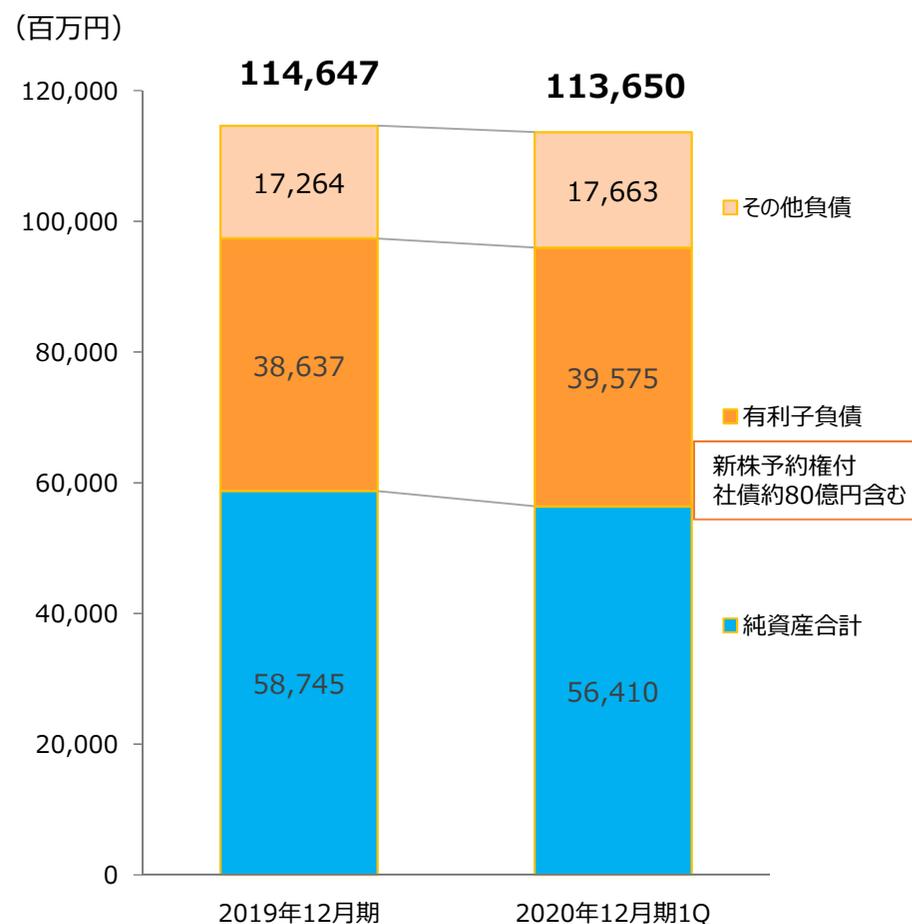


✓ ネット有利子負債は41億50百万円（前期末比6億13百万円減少）

資産



負債・純資産



※参考情報 2020年3月末 為替レート ドル：108.83円 ユーロ：119.55円 人民元：15.31円 バーツ：3.34円
 2019年12月末 為替レート ドル：109.56円 ユーロ：122.54円 人民元：15.67円 バーツ：3.63円

1 西日本支店・東日本支店 新春プライベートショー開催

2020年2月に当社西日本支店及び東日本支店においてプライベートショーを開催しました。

昨年10月に発表した新製品の形彫り放電加工機「AL40G」を初披露したほか、金属3Dプリンタで製造した金型を用いた高精度成形品やIoTを活用した生産管理システムなど、高精度加工に対応する当社の様々な製品群をアピールし積極的な営業活動を展開しました。

また、各機械に関するセミナーも開催するなど、大勢のお客様にご来場頂き、非常に活況となりました。



▲初披露の形彫り放電加工機AL40G



▲にぎわう会場内

【新春プライベートショー 開催概要】

◆開催日時・場所：

西日本：2020年2月7～8日 @大阪営業所（大阪府吹田市）

東日本：2020年2月13～14日 @大宮営業所（埼玉県大宮市）

◆出展機種：

西日本：形彫り放電加工機「AL40G」、ワイヤ放電加工機「ALN400G」、
ハイスピードミーリングセンター「UH430L」、金属3Dプリンタ「OPM250L」

東日本：形彫り放電加工機「AL40G」、ワイヤ放電加工機「ALN400G」、
ハイスピードミーリングセンター「UH430L」、金属3Dプリンタ「LPM325」
電動射出成形機「MS100」、縦型射出成形機「TR100VRE」

◆来場者数：合計1,000名程度



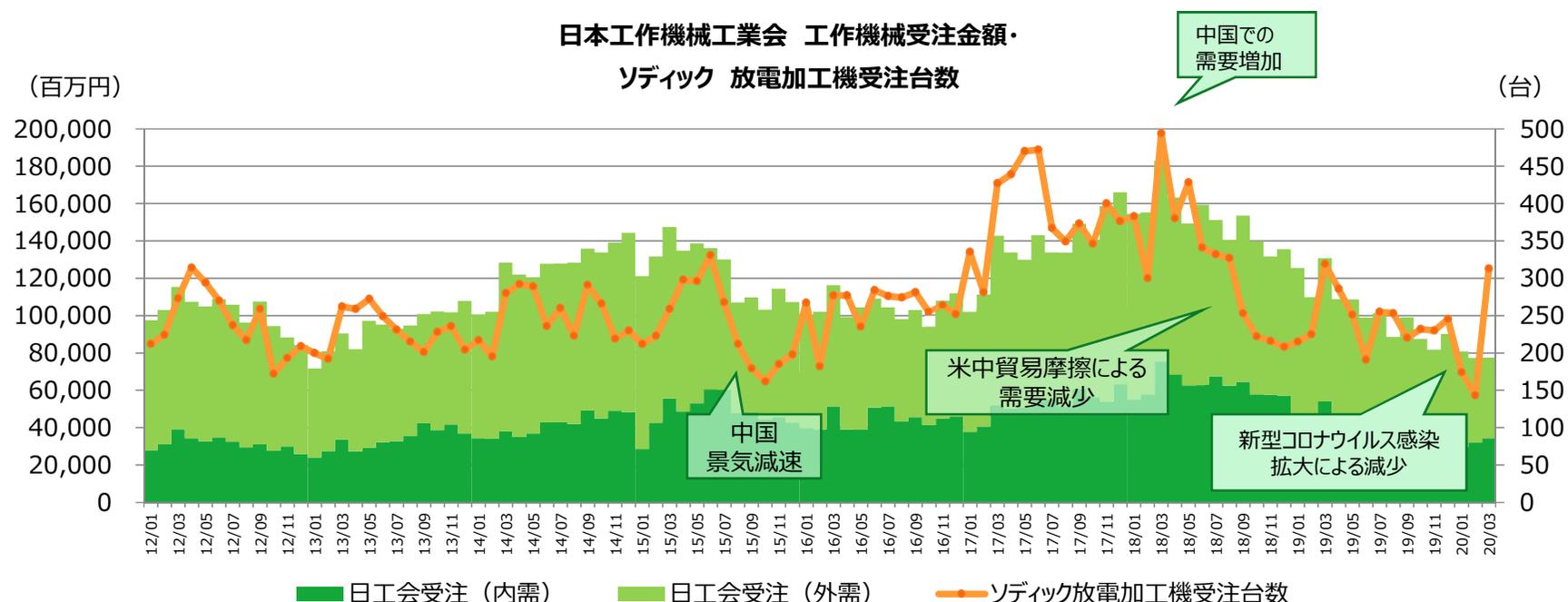
▲生産管理システム

I. 2020年12月期 1Q決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

(参考資料)

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要など潜在的な需要はあるも、
新型コロナウイルス感染拡大による事業活動の停止や設備投資の見送り傾向あり、先行き不透明。
- ✓ 北米・欧州：新型コロナウイルス感染拡大に対するロックダウンや外出禁止令により、事業活動が制限。
自動車関連や航空宇宙関連において非常に厳しい状況となる見通し
- ✓ 中国：1～2月にかけては新型コロナウイルス感染拡大を受け、営業活動、工場の生産が停止したが、3月以降回復傾向。
新型コロナウイルスの感染が全世界的に拡大しており、需要の先行きは依然として不透明感あるも、中長期的には
ものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、高精度機の需要は継続する見通し
- ✓ アジア：地域ごとに濃淡はあるが、ロックダウンとなっている地域もあり、需要の先行きには不透明感あり。



2020年12月期 業績予想



- ✓ 新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大の影響は、現時点では精査できておらず、2020年2月に発表した2020年12月期通期予想を据え置き。

(百万円)

	2020年12月期 1Q		2020年12月期 通期		進捗率	2019年12月期 実績
	実績	利益率	予想	利益率		
売上高	13,030	—	67,800	—	19.2%	67,591
営業利益	△88	—	3,800	5.6%	—	3,422
経常利益	△67	—	3,800	5.6%	—	3,558
当期純利益	△18	—	3,100	4.6%	—	2,002

期中平均 為替レート	ドル	108.86		106.00 円		109.03円
	ユーロ	120.08		118.00 円		122.03円
	人民元	15.6		15.40 円		15.77円
	バーツ	3.48		3.60 円		3.52円

2020年12月期 業績予想 (セグメント別)



		(百万円)			
		2020年12月期	2020年12月期	通期計画	2019年12月期
		1Q 実績	通期予想	進捗率	実績
売上高	● 工作機械事業	8,238	45,400	18.1%	45,797
	● 産業機械事業	2,556	9,700	26.4%	9,773
	● 食品機械事業	782	6,300	12.4%	6,283
	● その他事業	1,453	6,400	22.7%	5,737
		13,030	67,800	19.2%	67,591
セグメント利益	● 工作機械事業	197	5,300	3.7%	4,621
	● 産業機械事業	142	350	40.6%	165
	● 食品機械事業	25	350	7.2%	625
	● その他事業	60	300	20.1%	311
		425	6,300	6.8%	5,723
調整額		△ 513	△ 2,500	-	△ 2,301
営業利益 合計		△ 88	3,800	-	3,422

工作機械事業 / 産業機械事業

- ✓ 中国を中心に、自動車をはじめ他分野でも、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要あるも、米中貿易摩擦の長期化による海外経済の減速により需要は、低調に推移する見通し
- ✓ 新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大の影響を受けた経済活動の制限等もあり、非常に厳しい状況が見込まれる。

食品機械事業

- ✓ 製麺機や米飯装置ともに需要が堅調に推移する見通し
- ✓ 製菓・総菜など他分野への展開にも注力
- ✓ 新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大の影響を受けた経済活動の制限等もあり、厳しい状況が見込まれる。

その他事業

- ✓ 金型成形事業及びセラミックスの外販ともに回復を見込む

※新型コロナウイルス感染拡大の影響につきましては、上記業績予想に織り込んでおりません。

I. 2020年12月期 1Q決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

(参考資料)

【参考資料】 国内外の拠点



- 本社
- 生産拠点
- 開発拠点
- 販売・サービス拠点

【参考資料】 主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	新日程 (延期の場合)	開催地		展示会	概要
2020年					
4/21~24	2021年 4/13~16	中国	上海	Chinaplas	射出成形機を出展 新型コロナウイルス感染拡大により 2021年4月に延期
5/13~16	9/23~26	タイ	バンコク	INTERMACH 2020	新型コロナウイルス感染拡大により 2020年9月に延期
5/18~22	8/17~21	中国	北京	CIMES (China International Machine Tools & Tools Exhibition)	新型コロナウイルス感染拡大により 2020年8月に延期
5/21~23	10/29~31	日本	金沢	MEX金沢	新型コロナウイルス感染拡大により 2020年10月に延期
6/10~14	10/10~13	中国	上海	Die & Mold China	新型コロナウイルス感染拡大により 2020年10月に延期
6/23~26	-	日本	大阪	FOOMA JAPAN 2020	食品機械展示会 新型コロナウイルス感染拡大により中止
6/24~27	2021年 6/23~26	タイ	バンコク	INTERMOLD THAI	新型コロナウイルス感染拡大により 2021年6月に延期
9/14~19		USA	シカゴ	IMTS2020	世界最大級の工作機械展示会
10/6~10		日本	幕張	IPF Japan 2020 (国際プラスチックフェア)	射出成形機を出展
10/8~10		ベトナム	ホーチミン	Metalex Vietnam	
11/18~21		タイ	バンコク	Metalex Thailand	
11/24~27		中国	深圳	DMP 2020 (東莞国際金型・金属・プラスチック加工展)	
12/7~12	-	日本	東京	JIMTOF2020	世界最大級の工作機械展示会 東京オリンピック延期に伴い中止

【参考資料】新型コロナウイルス感染拡大に対する当社の対応状況



✓当社 主要拠点での対応状況は以下の通り（5/12現在）

	拠点	所在地	稼働状況
中国	蘇州工場	江蘇省蘇州市	2/14（金）から一部稼働開始、 ほぼ通常の稼働状況
	廈門工場	福建省廈門市	2/17（月）から一部稼働開始 ほぼ通常の稼働状況
	販売子会社	上海市・ 広東省深圳市	2/17（月）から一部稼働開始、 ほぼ通常勤務可能
アジア	タイ工場		通常稼働
	その他アジア営業拠点		基本的には在宅勤務
日本	本社・技研センター	横浜市	原則在宅勤務
	各営業所		原則在宅勤務
	加賀事業所・福井事業所	石川県・福井県	在宅勤務可能な職種は順次在宅勤務へ移行 製造部門は3密回避を徹底し生産継続
欧州	販売子会社	英国、ドイツ	一部社員出社するが、基本的には在宅勤務対応
北米	販売・開発子会社	米国	一部社員出社するが、基本的には在宅勤務対応

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835